

じんけん くらしの扉

淡路市人教：役員だより No.45

私の単純な悩み～障がいとはなにか？～
淡路市人権教育研究協議会顧問 平田 國雄
ここ何年かいわゆる「障がい」のことが頭の片隅から離れない。

例えば聴覚障碍者がいる。でも自分も年齢とともに耳が遠くなってきた。

山田のコミバスを週に一回運転しているが、乗客の多くは耳が聞こえにくいので話が一方通行であったり、ちぐはぐな会話になったりする。お客様も私も障碍があり、程度の差はあっても聴覚障碍者かもしれないがそうは言わない。その境はどこにあるのか。

リオ・パラリンピックが開かれた。159か国・地域、「難民選手団」たち4300人が22競技528種目に参加した。素早い動き、激突、玉の汗、跳躍、強い力、集中、勘、チームワーク、忍耐、駆け引き、連日の激戦。友情そして愛。

人の持つ力の限界を更に伸ばさんと挑戦する姿はこの上なく崇高で美しい。

米のマルクス・レーム選手は義足の公平性をクリアして幅跳びでオリンピック記録に後40cmまで迫っており、健常者と一緒に競技し障がい者スポーツへの注目を集めたいと言っている。

障害とは個人の精神、身体の一定の機能に半恒久的に差障りがある状態とされるが、アスリートの躍動を見ていると、一体「差障りがある状態」とはどういう状態なのか、健常とは何が基準なのかと疑問が湧いてくる。

障得はあるが、障碍者はいないという人もいる。境はいらないかも知れない。また、障害とは不便なものなのだろうか？「不便、不自由、不幸」というのは捉える人の捉え方によるのであり、障得があるのが当り前の人にとって、不便でも不幸でもない。

障得を例に考えて見たが、部落差別をはじめとした様々な偏見や差別意識を持つ人はそういう考え方しかできないという意味では、「障害」を持っているのではなかろうか。

第68回人権週間における

特設人権相談所を開設します。

開設日	時間	開設場所
12月1日(木)	13:00~16:00	淡路市役所 1F 第2会議室
		東浦事務所 1F 町民室
		岩屋事務所 1F 相談室1
		北淡事務所 1F 会議室1
		一宮事務所 2F 第2会議室



人権イメージキャラクター
「人KENまもる君」

「いじめ」や暴力行為等は、人権侵害です。法務局・地方法務局では、人権侵害による被害を受けた方を救済するための活動を行っています。お気軽にご相談下さい。

第11回淡路市人権を考える集い！

12月3日(土)

開場/13:30~

開始/14:00~

入場無料

■日時：2016年12月3日(土)

■開場：一宮ふるさとセンター多目的室

■内容：①2016人権ポスター・標語作品入賞者表彰式(14:10~)

②朗読劇：「いもさいばん」「あつおのぼうけん」(14:40~)
(田島征彦先生の絵本より)

※出演：ユニット名 劇団「表現者チエスナツツ」(くりちゃん・君子蘭：南あわじ市)



(撮影：佐々木英豊・今田潤)

③新ちゃんのお笑い人権高座

出演：露の新治(つゆのしんじ)(15:15~)

奈良の夜間中学設立運動に関わり、「やりたいことをやるべきだ」と教えられ、落語家となる。

2015年、人権高座の功績が認められ、第6回奈良人権文化選奨受賞。同じく2015年、「露の新治寄席」の成果により第70回文化庁芸術祭賞優秀賞受賞。

■共催：淡路市・淡路市教育委員会
淡路市人権教育研究協議会

北淡地域文化祭映画会

◇日時：11月1日(火)

受付：13:30~ 開始：14:00~

◇場所：北淡センター3階大ホール

◇参加費：300円

◇映画タイトル：「夢の間の世の中」

(ドキュメンタリー映画：2016年11分)

※袴田巖さんの日常を描き、生きることの尊さを問いかけてます！感動の作品を楽しんで下さい。

きむそんうん

金聖雄監督が、映画終了後、登場します。少しお話を頂きます。

◇主催：淡路市人権教育研究協議会北淡支部

